

## 平成 21 年度第 2 回稚内市廃棄物減量等推進審議会開催結果(議事録)

### 1 日時

平成 21 年 10 月 14 日 (火) 15:30～17:30

### 2 場所

稚内市役所 4 階 第一委員会室

### 3 会議の概要

#### (1) 開 会

#### (2) 会長あいさつ

◎中陳から挨拶

#### (3) 審議会

以下に、質疑応答に関する発言内容を記載しますが、審議員が特定できないように委員名を伏せています。また、発言の内容についても、審議員が特定できる発言箇所を「■」としています事を予めご承知願います。

【意見・質疑応答】

○は審議委員、●は事務局

- ⇒ 今までのごみ処理基本計画は、審議会での諮問書により、コンサルと事務局で作成していたのですが、今後の指針を決めるため、さらに PFI の生ごみ処理施設も現在動いていますので、北海道大学の古市教授にも参加していただき、さらに最終的にはごみ処理をみんなで考えようという市民フォーラムまで持って行きたいと考えています。さらに現在、利尻礼文を含めた広域処理も考えております。利尻礼文は、ごみ処理で大変な状況になっております。そこで、稚内が中心地的な役割を果たせるのではという考えで、現在進めております。そのような話が環境省の耳にも入っているようで、稚内の循環型社会形成についての話を聞きたいと連絡が来ております。

<事務局から策定委員会専門部会についての説明があった。>

- ⇒ まだ分別が徹底していない部分というのはあるのですか？
- ⇒ 有料化になって、指定袋を使わないという事例はあります。最初は有料化になったのを知らないということが多かったのですが、現在は資源物の袋のなかに一般ごみを入れるという事例が多くなっています。そのため、各地域の減量化推進員や衛生課の職員が動き、それらを捨てた本人が把握できるものがあれば、指導をしています。その時にトラブルにならないのが8割ということで、ただ単に知らなかったというのがほとんどのようです。ただ、警告シールが張られる量が多くなってしまっている現状は否めません。
- ⇒ やはりごみの出し方については、むずかしい現状はあります。私も毎朝回って見ているのですが、資源物の中の異物が混入されているものがあります。何度か袋を開けてみたのですが、名前を特定できるものは保管しています。ただ、全体的に見ると、かなり良くなってきています。指導している減量等推進員の影響もあるのだと思います。
- ⇒ 分別が徹底されている町内会と、徹底されていない町内会とがあると思うのですが、そのところ事務局ではどのように考えていますか？
- ⇒ 巡回しながら、それぞれのステーションでの警告シールの数などはこちらで把

握しております。これからそれぞれの町内会の減量等推進員の研修なども行います。やはりアパートなどが多い地域は分別が徹底されていない傾向にあります。

- ⇒ 警告シールが張られたものがあると、他の方が、一般ごみの袋に入れてしまうこともありました。それでは警告シールの意味がないので、やめたほうが良いという話はしているのですが、警告シールが張られているごみを出している人は、おそらく特定の人だろうと思います。
- ⇒ 衣類の回収ボックスなのですが、箱に入らなくてその脇に置いてあるというのが結構あります。衣類は安くなっているのもあって、今後出される量はどんどん増えてしまうと思います。回収場所が少ないのかなと思います。それと、監視カメラを3ヶ月間置いたとのことですが、場所はどこですか？
- ⇒ 場所は、ミルクロードの展望台です。あの周辺の不法投棄はひどいものです。沢になっているので、投棄しやすくて見えにくい。監視カメラ本体が一台、ダミーが三台、本体は人が動くとき作動するようになっています。監視カメラをつけていた期間は不法投棄がかなり少なくなりましたので、絶妙な効果がありました。やはり新聞などで告知をしたのと、現地でカメラに気がついて不法投棄をやめたのではないかと考えられます。
- ⇒ 前年度までのデータと今年度のデータがあると減量の効果があるとわかると思うのですが、そのようなデータはないのですか？
- ⇒ 有料化が始まってまだ一年たっていませんが、単純に4月から8月までは前年度比で28.7%減量されています。
- ⇒ 指定袋のほうに資源物を入れている人が多くなってきているように思います。面倒になってきたのかもしれない。
- ⇒ ある地域の市民の皆さんから、資源物の日にごみを捨てに行くときに推進員がステーションの前に立っていて、毎回ごみをチェックされるが、その推進員の口調や態度が厳しいという声が聞こえます。そのため資源物を一般ごみに入れたほうが確実に持っていってもらえるから、そうしているという話を聞きました。
- ⇒ 推進員の話では、車で持ってきた人は越境した（そのステーション地域外から捨てに来る）人が多いので、推進員のチェックも厳しくせざるを得ないと聞いて

いますが。

- ⇒ 最近の話ですが、そういった苦情が市民から寄せられて対応したところです。  
推進員が厳しすぎるといふ苦情でしたが、推進員に話を聞いたところ、自分の説明の仕方が悪かったと反省するけれど、何度説明しても良くわかってくれない人も多くいて、どうしても厳しい言い方になってしまうとのことでした。また、国道沿いなどは、車で捨てに来やすいことから、不分別のごみが投棄され、一向に分別が良くなりず困っているとのことです。推進員の立場も理解できるのだが、まずは市民にはもっと話しかけることから始めようと問いかけようと思う。頭ごなしに怒るのではなくて、やさしく諭すようにできれば、そのような問題もなくなるのかもしれませんが。研修も行うつもりです。推進員と市民との関係を良好なものにできるように、市が責任をもって行うつもりです。
  
- ⇒ 一般ごみはとても減ってきているのを実感しますね。おおむね良好ではないでしょうか。  
ただ、数点言うのであれば、警告シールが容器包装プラの袋に良く張られているのを見かけますが、市民が「容器包装」という意味を良く理解してくれていないのではないかと思います。あくまで「容器包装」のプラスチックであって、素材がプラスチックなものは除外されるということが良くわかっていない市民が大勢いるのではと想像できます。  
もう一点は、白色トレイについてなのですが、一般家庭では白色トレイは集めるのに時間がかかると最近思いました。毎週必ず集めて干して水気を切っていますが、数点の白色トレイしか集まらないことが多いのです。それならば、いちいち白色トレイとして分別して出すのもどうかと思うので、容器包装プラに入れてしまえばよいのではないかと感じてしまいます
  
- ⇒ たしかに、白色トレイは面倒ですね。そしてかさばります。袋にはまだ空間があつて、もっと入るのに白色トレイはかさばってすぐに袋に入らなくなってしまう。なにか改善策はないものなのでしょうか？
  
- ⇒ 例えば、袋に入りやすいように白色トレイを割ってみてはどうでしょうか？そうすれば袋に入りやすいし、かさばらない。また保管しておく場所も小さいスペースですみます。
  
- ⇒ 提案なのですが、ごみステーションのデザインを考えてはどうでしょうか？

デザインといっても格好良くというわけではなく、市民が分別しやすいゴミステーションをデザインするという意味です。ゴミを出しに来た市民が、分別しやすいようなデザインを考える。もし、分別が不十分であれば、ゴミステーションで分別をすることにより、分別を理解できる。そうできればステーションの中が不分別のもので、ごちゃごちゃになる心配もなくなるのではないのでしょうか。現在のステーションはただの箱なので。

もう一つは、減量のテクニックを広報してみてもいかがでしょうか？減量のテクニックを市民から公募して、コンテストなどを行うのもいいかもしれません。有料化もあって、市民もゴミの減量をしたがっているわけだし、工夫をしている市民も多くいる。そういった情報を公開してみてもどうでしょうか？例えば、さきほどの白色トレイを割って小さくしても良いということは、私は知りませんでした。審議会の委員ですら知らないテクニックがあるのだから、市民にはまだまだ知らないゴミの出し方、まとめ方があるのではないのでしょうか。

私も有料化が始まって、半年見てきましたが、揉め事はあるにはあるが、思ったよりも少なく、あっても穏便に済んでいるのではないかと思います。新しいことを始めれば、揉め事があるのは当たり前のことです。新しいことは最初のうちは不十分ですから。今回の稚内市のごみ有料化もたしかに不十分ではあるとは思いますが、全体的にはおおむね、穏やかに浸透してきているように思っています。

- ⇒ 個人的な意見ですが、私も半年見ていましたが、やはり未分別の紙が多いですね。重さとしても紙はとても重いですし。その他の紙の紙袋もないという声もある。まだまだしっかり分別を徹底していきたいですね。

【ごみ処理基本計画に係る中間報告が、事務局から報告された。】

- ⇒ (利尻礼文との廃棄物の広域処理についての報告を聞いて)  
利尻、礼文との行政のつながりはあるのでしょうか？
- ⇒ 広域処理についてですが、宗谷管内、周辺地域でいうと。南宗谷、西天北はすでに広域処理を行っています。南宗谷は枝幸、西天北は幌延が良い施設を持っています。しかし、宗谷管内では、稚内・利尻・礼文は単独です。そして利尻・礼文は、一人当たりの排出量がとても多い。礼文で言えば一日 4kg のゴミを出していることとなります。特に観光客のゴミが市民よりも多いようです。ペットボト

ルなども分別はしているようなのですが、島ということもあり再資源化する施設もなく、仕方なく焼却処分をしている。稚内・利尻・礼文での広域処理という話は、以前まではあまり出ていなかったが、今後は考えていかななくてはならないことだと思っています。

○ ⇒ (現在改定中の生涯学習推進計画について)

生涯学習と連携させているのは驚きましたね。とてもいいことだと思います。あと、市町村は国や道からそれぞれの分野でそれぞれのことを言われていると思うが、市町村のすべての課でそれに対応するのはむずかしいのかもしれないね。市町村がやりたいこと、国がやりたいことは違うのかもしれませんが、出来る限り対応していくといいと思います

○ ⇒ 私も生涯学習とつなげているのはとても面白いと思います。今後さらに具体的な部分を設定していくと良いのではないのでしょうか。楽しみです。

また、広域処理についてですが、それを推進するにはなにか利点がなければいけないと思いますが、何か利点はあるのでしょうか？

● ⇒ 言葉ではうまく言い表すことが出来ませんが、専門的にはごみの量が減っていくと言われてます。しかし、施設をうまく使い、延命するためには、ある程度のごみの量が必要です。ごみの量を減らしたいのに、ある程度のごみの量が必要という矛盾が生まれます。しかも必要なのは良質なごみです。良質なごみはホテルや旅館などの旅行業界に多く存在するという話を聞きました。そう考えれば利尻礼文には、良質なごみがたくさんあるというわけですね。

○ ⇒ 季節限定で分別項目を増やしてみるのはどうでしょうか。例えば、木や草などは、別に埋立てしなくても確実に土に戻りますよね。草や木を集めて、土に戻るまで一箇所に固めて置いておくという事はできないのでしょうか？

● ⇒ 一般廃棄物として集めてしまえば、必ず何かしらの処理をしなくては行けませんので、放置して土に戻すというわけにはいかないのが難点ですね。

○ ⇒ 時間も押し迫ってきましたので、次の報告に参りましょうか。

(4) アンケート結果について

市民、減量推進員それぞれのアンケートの結果について、事務局から報告があった。

(5) 市民フォーラムについて

平成21年11月28日(土)に稚内北星学園大学で開催される市民フォーラムについて、事務局から報告があった。

(6) 審議会日程について

平成21年10月27日午前中に第3回稚内市廃棄物減量等推進審議会を開催することを確認した。

(7) 閉 会